

令和7年度調査研究プロジェクトの 参加研究者・技術開発者募集のご案内

(公社)日本冷凍空調学会では、学術研究機関の研究者と企業の技術開発者が共同して共通の将来的課題を究明するために、調査研究プロジェクト制度を設けています。温暖化問題等対策検討委員会で検討の結果、令和7年度開始の調査研究プロジェクトとして、下記のように学術研究機関研究者の公募と技術開発企業の参加募集を行います。今後の技術展開に対して非常に重要なプロジェクトです。是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

プロジェクト課題	冷媒容器管理システム調査研究プロジェクト (実証研究フェーズ)
提案技術委員会	温暖化問題等対策検討委員会 [委員長 宮良明男 (佐賀大学)]
期間	令和7年4月～令和9年3月 (年4回程度の研究会合を開催)
プロジェクト内容	<p>「モントリオール議定書第28回締約国会合 (2016年10月)」において、冷凍空調機器やヒートポンプの作動流体であるHFC系冷媒の段階的な生産量・消費量の削減を実施するキガリ改定が採択された。現在までに日本・米国・EU・中国を含む主要な国々がこれに批准している。また、地球温暖化ガスの排出を全体としてゼロとするカーボンニュートラル社会を実現するために、冷凍空調機器の効率向上やヒートポンプの普及が増々重要になっている。それに伴って、これら機器に使用されている冷媒を貴重な資源としての確に回収して再生・破壊できる管理システムの構築、そして管理システムを適切に運用していくことの重要性が国内外で注目されている。現在までに、キガリ改正の削減目標値を満たすように自然冷媒や低GWP冷媒の物性および圧縮機や熱交換器などの機器に関する研究や評価が活発に行われているが、冷媒の循環型社会を形成する冷媒管理サークルを全体システムとして捉えて冷媒容器の流れを含めた総合的見地から冷媒循環の検討や評価はほとんど行われていない。本調査研究プロジェクトでは、冷媒循環を把握する際に参考となる情報を提供することを目的とし、学術的視点から下記の項目について検討し、冷媒容器の管理システムを提案する。</p> <ol style="list-style-type: none">冷媒容器管理システムに要求される仕様 (システムの普及方策を含む)多様性や作業性に優れた冷媒容器管理システムの実証研究冷媒容器管理システムのための最適な保守システムと運用方法冷媒容器管理システムから得られる情報による冷媒や冷媒容器の環境負担低減への対応の可能性 <p>これらより、課題がより具体的に抽出できるようにNRC容器管理ソフトの実証研究を行う。さらに実証研究により得られたデータに基づいてNRC容器管理システムの普及に向けた方策の提案、冷媒容器に関連する環境負荷などについて検討を試みる。</p>
運営予算	1企業あたり、会員企業は99,000円 (税込) /年、非会員企業は143,000円 (税込) /年を支出する。
参加企業 申込方法	[技術開発民間企業の参加申込み] 別紙様式2 の参加申込書に、必要事項を記載の上、お申し込みください。
学術研究機関所属 研究者委員 公募要領	[学術研究機関所属研究者委員の公募] ○募集資格：本学会正会員であること。 ○募集人数：3～5名程度。 ○提出書類： ・略歴、専門分野、本プロジェクトでの貢献事項など記載する応募書類 (別紙様式1) ・代表的研究論文5編程度 (本プロジェクトに関連するものが望ましい、コピー可) ○選考方法：ご提出頂いた応募書類に基づき、ご参加頂く研究者を選考いたします。
募集期間	令和7年3月31日 (月) まで
申込先	公益社団法人 日本冷凍空調学会 調査研究プロジェクト担当係 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町13-7 日本橋大富ビル5F Tel : 03-5623-3223, Fax : 03-5623-3229
案内	学会誌「冷凍」2025年1・2月合併号および3月号、並びに学会ホームページ https://www.jsrae.or.jp/ にて案内します。